

【別府公園経営方針】

●公園の概要

開設年	明治40年
公園種別	総合公園
面積 (ha)	27.3
住所	別府市大字別府野口原3018-1

- ・昭和52年に、昭和天皇陛下御在位50年記念公園として指定を受けた別府市のシンボル公園です。
- ・樹齢100年を超える松が約600本群生しており、この松林を活かした園内には四季折々に美しい姿を見せる花や木があり、川のせせらぎや鳥のさえずりが人々をあたたかく迎えます。
- ・主な公園施設は、ビーコンプラザや別府市総合体育館、テニスコート、東駐車場、市立図書館、スターバックスコーヒー別府公園店などがある。
- ・園地エリアには、芝生広場、池・流れ、梅林、竹林、藤棚、花のエリア、便所、耐震性貯水槽、遊具広場などを配置している。

●公園の利活用実態（園地エリア）

- ・外周約1700mの園路を利用したウォーキングやランニング、犬の散歩が多い。
- ・駅からのアクセスも徒歩10分と良好で 桜、梅の名所として知られ、花見シーズンに多くの来園者がある。
- ・イベントの開催状況は、大分県農林水産祭や福祉まつりなどの行政主体のものから、市民主体のマルシェなど、多様な催しが年間通じて行われている。
- ・市役所や図書館、ビーコンプラザなどの施設に隣接しているため、施設利用者が立ち寄る休憩スペースとしても利用されている。
- ・全ての公園を対象にした施設整備に係るアンケート調査でも、施設を配置してほしい公園として必ず上位にあがっている。

●経営テーマ

別府市のシンボル公園を次世代へつなぐ

- ①安心・安全に利用できる公園づくり
施設や植栽の適正管理、園内のバリアフリー化を推進する。
- ②上質な公園環境の整備と歴史・文化の継承
緑豊かな環境が織りなす原風景を守る。
- ③スポーツ、文化振興など集客力のある施設による公園の魅力向上
各エリア・施設の利用者増加を目指し、施設の充実とソフト面での利用推進を図ります。
- ④公園全体の利用性向上
本公園の本質的価値であるまちなかの貴重な緑地空間の維持と公園全体の回遊性向上を図ります。

・本市の文化振興の拠点としての機能を継続。

ビーコンプラザ

・図書館を中心とした、市民の文化的憩いの場として機能を発揮。
・園地エリアと一体的な活用や連携を強化する。

市立図書館

・まちなかのスポーツレジャーの中核と位置づけ、各施設の活用促進を図る。

別府市総合体育館、公園テニスコート

園地

・園地エリアは、市民の憩いの拠点として位置づけ、きめ細やかな維持管理と時代のニーズにあわせた施設整備を行う。
・トイレ改修や施設の長寿命化対策、こどもの遊び場の充実など、利便性や満足度、価値の向上に向けた取り組みを行う。

・スターバックスコーヒー別府公園店は、市民の日常の憩いの場となっている。
・駐車場の長寿命化対策として改修することで、面的なりフレッシュと利便性の向上を図る。

東駐車場
スターバックスコーヒー別府公園店

【南立石公園経営方針】

●公園の概要

開設年	昭和46年
公園種別	総合公園
面積 (ha)	10.85
住所	別府市大字南立石1884-1

・自然度の高い都市緑化植物園として、都市緑化の高揚を図るとともに住民の憩いの場として開設。
 ・多種多様な植栽に囲まれた環境と、伝統的造園技法によって築かれた庭園が特徴的で、散策や自然との触れ合いの場であり、四季を五感を使って感じることもできる公園である。
 ・梅の名所でもある。
 ・主な公園施設は、芝生広場、梅園、池・流れ、みどりの相談所、便所、東屋、駐車場などがある。

●公園の利活用実態

・ウォーキングや犬の散歩、ピクニック、散策、森林浴の場としての利用が多い。
 ・小中学校の遠足や自然学習の場として利用。
 ・みどりの相談所に園芸相談や講座受講のため来園する方もいる。
 ・イベント開催等はほぼない。
 ・アンケート調査で、「公園に何を求めますか」という質問には「安全・安心な空間」と回答した人が最も多く、次に「心身のリフレッシュ」「スポーツする場の確保」と回答した人が多い。市民には、特に安全安心な空間、リフレッシュできる空間、スポーツできる空間が求められている。



●経営テーマ

自然度の高さと庭園文化を活かした賑わい創出

①安心・安全に利用できる公園づくり (課題解決)

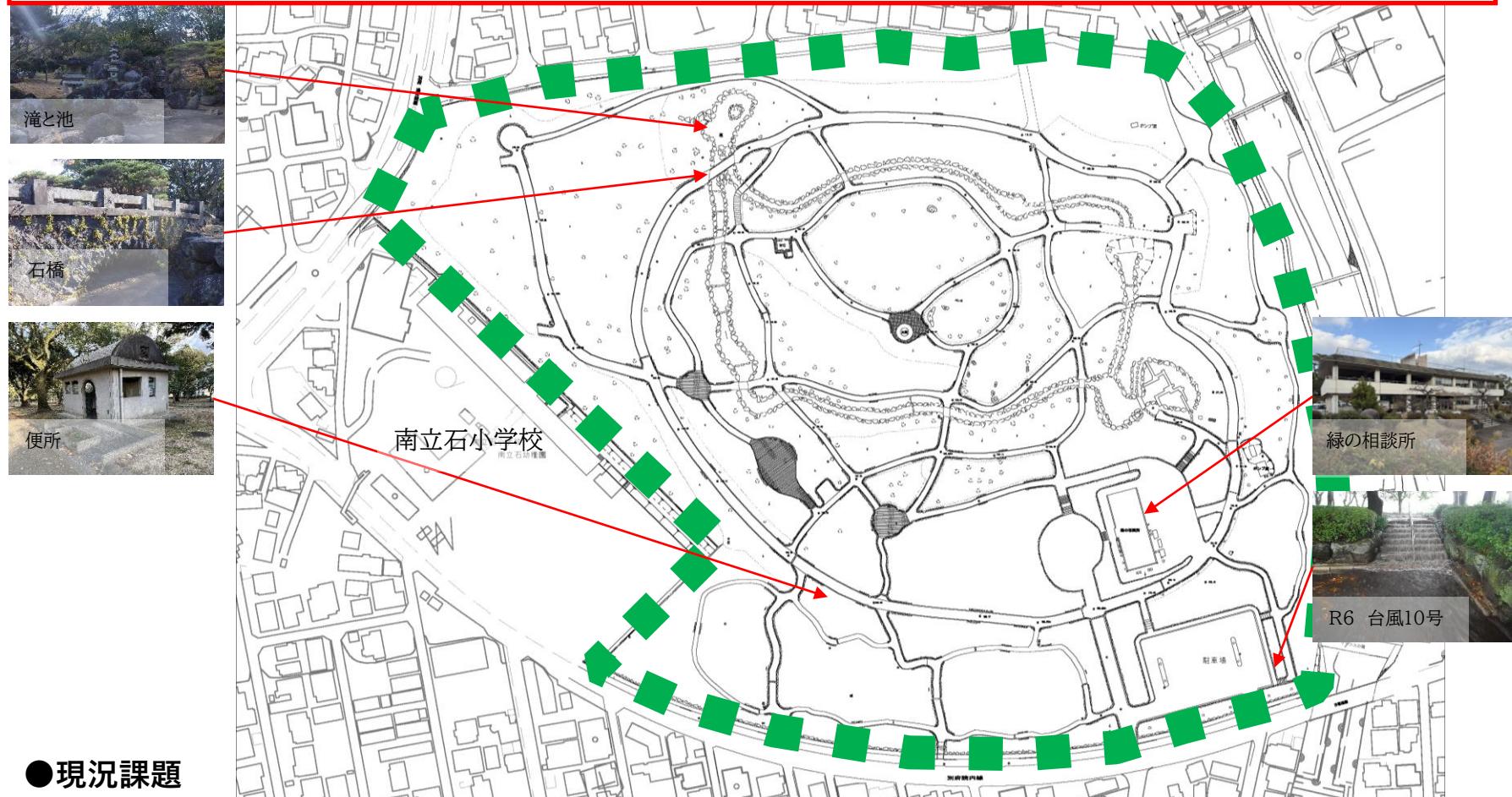
- ・豪雨対策や防犯性の向上、施設のバリアフリー化や長寿命化対策を実施。
- ・植栽の量と配置の適正化。

②庭園文化の継承と発信 (素材の磨き上げ)

- ・石橋などの施設や築き上げられた庭園景観の保全に努めます。
- ・枯渇した井戸を利用しての流れ等は、庭園様式の変更などの柔軟な対応で利活用します。
- ・名所となっている梅園の継承と質の向上を図ります。

③総合公園としての利用増進に向けた取り組み (新たな価値創造)

- ・道路からの視界の広がり意識した植栽の再配置や、出入口や駐車場などの施設配置の検証と修正による動線強化。
- ・こどもも大人も遊び・楽しめる公園を目指し、ハード・ソフト両面からの充実を図ります。
- ・機能の衰退や施設の老朽化が顕著な緑の相談所のあり方について見直しを図ります。
- ・安定的な公園運営に向けてニーズ把握や市場調査を行い、PPPも視野に満足度向上に向けて取り組みます。



●現況課題

- ・外部から園内が見えない。植栽密度が高く視認性が低い。
- ・自然災害時に園内の雨水排水設備が対応できず園外に雨水が流出することがある。
- ・井戸水が枯渇し滝・流れに水が流れない。
- ・緑の相談所の劣化・老朽化、機能の衰退。
- ・公園の利用が限定的で、広さに対して活用が少ない。
- ・児童保護者や公園利用者から防犯対策を講じる要望がある。

【実相寺中央公園経営方針】

●公園の概要

開設年	昭和16年
公園種別	運動公園
面積 (ha)	15.75
住所	大分県別府市鶴見実相寺

・市街地の中心部に位置しており、緑豊かな良好な環境のもとで、本格的にスポーツができる運動公園です。

・実相寺山の山頂は市内の景色を360度一望することができ、夜景スポットでもある。

・主な公園施設は、別府市民球場や実相寺球場、サッカー競技場、ハイパフォーマンスジム、多目的グラウンド、アーチェリー・弓道場、パークゴルフ場、散策園路、駐車場などがある。

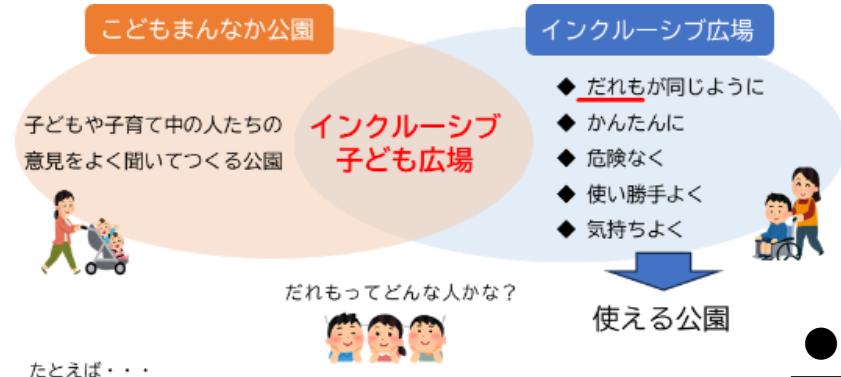
●公園の利活用実態

・日常の練習から大規模な大会、プロチームのキャンプなど市のスポーツ拠点として多様に利用されている。

・公園全体として駐車場が不足しており、大会開催時には、公園周辺の民間駐車場の協力により対応できている。

・樹林地内の散策園路等は、自然とのふれあいや学校の遠足、高低差を活かした運動などに利用されている。

●インクルーシブ子ども広場 概念



●経営テーマ

自然とスポーツを身近に感じることのできる空間づくり

①公園緑地の保全創出と安全な利用環境の確保

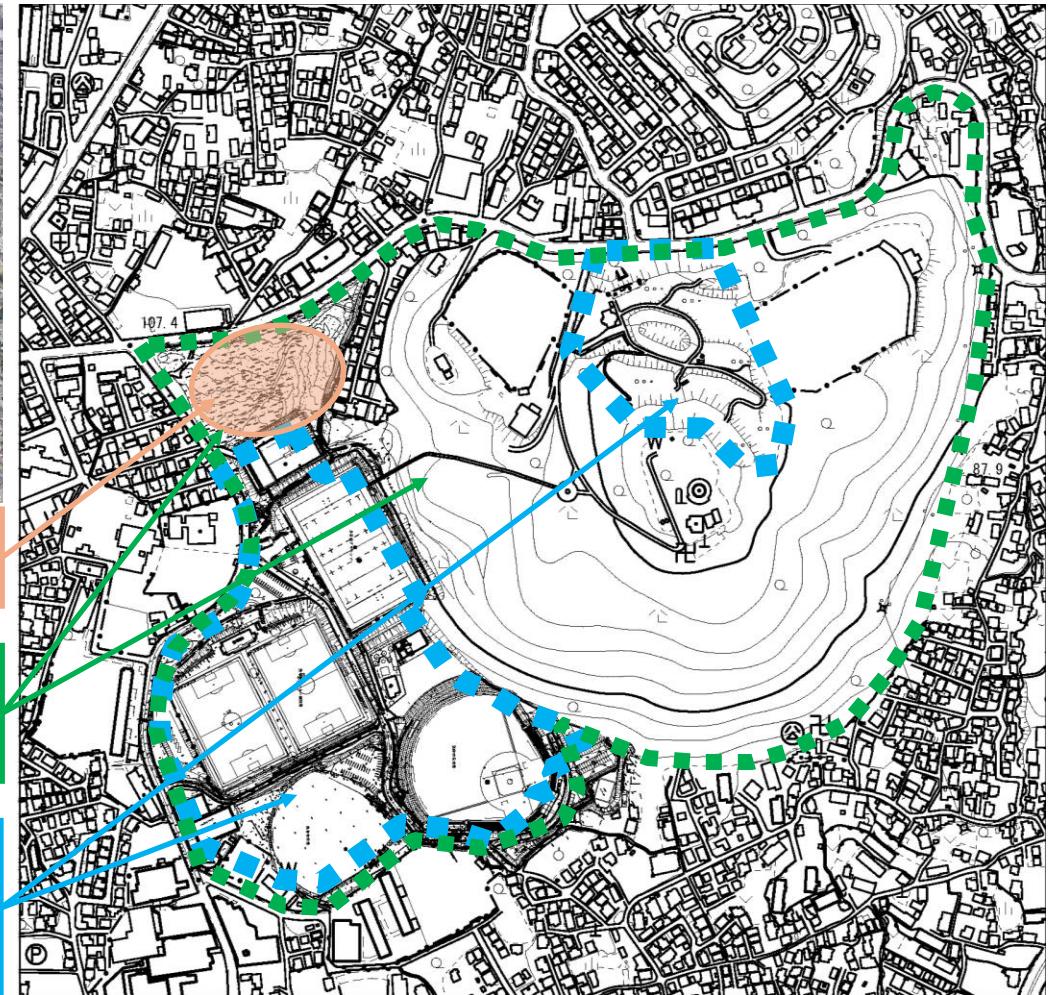
- ・安心・安全対策や施設のバリアフリー化、長寿命化対策、公園の諸課題の解決に努めます。
- ・災害時における防災拠点としての機能の強化に努めます。

②スポーツの振興とにぎわいの創出

- ・スポーツ観光の拠点として、スポーツ施設や誰でも楽しめる施設の整備を行い、適正な維持・更新に努めます。
- ・公民が連携した運営を行い、施設の利活用促進や利用者の満足度の向上に努めます。

③こどもまんなか社会の実現に向けた空間づくり

市内各地からのアクセスの良さと緑豊かな環境を活かしてインクルーシブ子ども広場を配置し、こどもや子育て当事者が安心・快適に日常生活をおくることができるよう努めます。



<インクルーシブ子ども広場>
誰もが使える・遊べる広場の配置。

<園地>
既存緑地の保全と活用の両立による、自然遊びや憩いの空間の創出。

<スポーツ>
安定した施設運営のため、
・管理運営の強化による利活用の促進。
・適正な施設の維持管理。

●現況課題

- ・現況機能がスポーツ施設に特化しており、公園の利便性・魅力を高める新たな機能の導入が必要。
- ・慢性的な駐車場不足が発生している。
- ・施設間の連携や動線の円滑化、暑熱対策や滞留スペースの確保が必要。
- ・密度の高い樹林帯が園内の大半を占め、防犯対策・安全対策に基づく園地整備が必要。

【鉄輪地獄地帯公園経営方針】

●公園の概要

開設年	昭和54年
公園種別	特殊公園
面積 (ha)	8.3
住所	大分県別府市大字鉄輪字円内坊外

・温泉や地獄が点在する鉄輪エリアの自然や景観を活かし提供することを目的に設置。
 ・主な公園施設は、森林浴のできる散策路や遊具広場、ドッグラン、芝生広場、駐車場、気軽にアウトドア体験のできるグランシア別府鉄輪、防災備蓄倉庫などがある。

●公園の利活用実態

・市内で最も遊具の充実した公園であるため、休日には多くの親子連れで賑わう。
 ・市内で唯一の公園ドッグランは、一定のニーズがあり、施設ならではのコミュニティもある。
 ・レストランやグランピング施設のあるグランシア別府鉄輪は、観光客等の利用が多い。
 ・駐車場が点在し大きな芝生広場もあるため、各学校の遠足での利用が多い。
 ・緑陰が程よくある園路が長く続くため、ウォーキングや散策利用も多い。
 ・最も西にある芝生広場では、集客力のあるイベントが開催されている。



●経営テーマ

一日中過ごせる公園の実現

①安心・安全に利用できる公園づくり

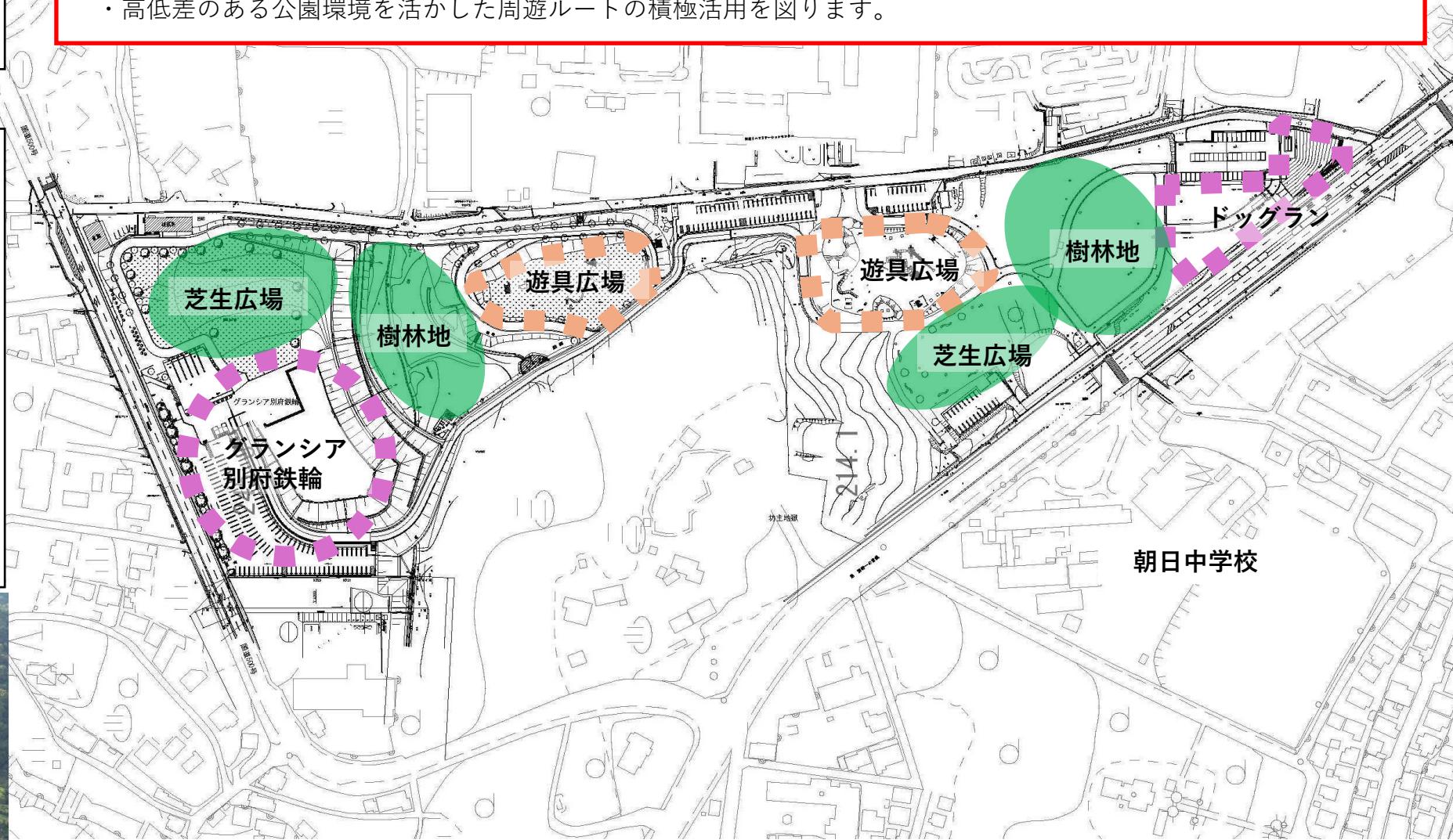
施設の長寿命化対策や植栽の適正管理、きめ細やかな維持管理を実施。

②市民と観光客、こどもから大人までがともに楽しめる公園機能の強化

- ・ニーズを満たせていない層の取り込みに向けて、ハード・ソフトの両面から利用の促進を図ります。
- ・多岐に渡る各施設の安定した運営とマネジメントを実施します。
- ・点在する集客施設の機能強化に向けて、施設間の連携や実証実験に取り組みます。
- ・社会情勢の変化に対応するため、幅広い層のニーズ把握と課題解決に向けた柔軟な運営に取り組みます。

③公園全体をめぐる新たな回遊機能の付加

- ・高低差のある公園環境を活かした周遊ルートの積極活用を図ります。



●現況課題

- ・各エリアごとに高低差があるため、利用者の多くが、エリア単体の利用にとどまっている。
- ・近隣の中学生が遊べる場所がない。 ・利用者に飽きさせない工夫が必要。 ⇒リピーターをつくる。
- ・施設単位ではなく公園全体の賑わい創出が必要。 ・公園の飛び地箇所との整合性

【上人ヶ浜公園経営方針】

●公園の概要

開設年	昭和41年
公園種別	地区公園
面積 (ha)	6.4
住所	別府市上人ヶ浜町504-1

・自然の海岸線や松林を活かした市内唯一の海浜公園である。北エリアは高さ20mを超える松が自生する松林を主とした広場が広がり、南エリアはワシントンアパームやフェニックスなどが植栽された南国的な雰囲気芝生広場が広がる。

・北エリアの主な公園施設は、P-PFI事業者が運営しているSHONIN PARKとして海浜砂湯やレストラン、ショップエリア、宿泊コテージ、駐車場などがある。

・南エリアの主な公園施設は、芝生広場や駐車場、ストリートバスケットコート、スケートボードパークなどがある。

●公園の利活用実態

・北エリアは観光拠点として機能を発揮しており、多くの観光客や市民が訪れ賑わっている。

・南エリアはアーバンスポーツの拠点として学生や若者を中心によく利用され、賑わっている。

・南北に海岸線に沿って遊歩道があるため、別府湾を一望（別府湾からの日の出も臨める）しながらの散歩やランニングにも利用されている。

・公園に隣接した観光港では大型客船の寄港やその背後地の広場でのイベント開催などがあり、公園施設との相乗効果も相まって、一帯は集客性の高いエリアとなっている。

・広い芝生広場を有する環境のため、各学校の遠足利用が多い。



●経営テーマ

市民も観光客も楽しめる海浜公園

①公園の高付加価値化と多機能化

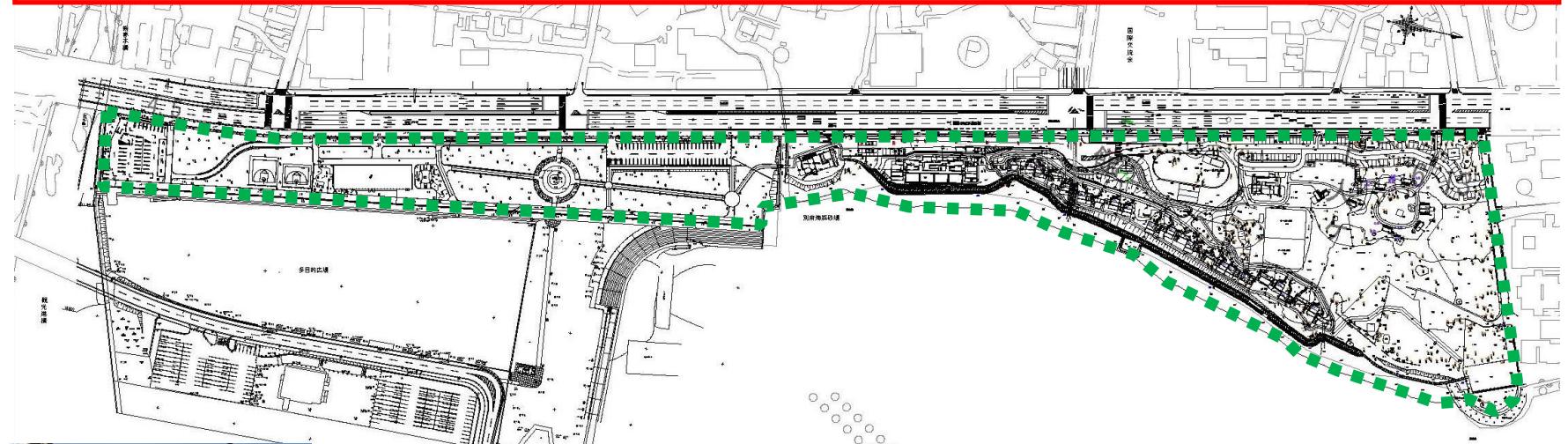
- ・ SHONIN PARKの多様なサービス提供による公園の魅力向上。
- ・ アーバンスポーツやランニング、ウォーキングなどのアクティブな活動ができる公園。

②海浜公園としての進化

- ・ 海の玄関口(別府国際観光港)に隣接した立地環境を活かしたにぎわい創出。
- ・ 周辺施設との連携による利便性の向上やエリアの価値向上を目指します。

③多世代が楽しめる公園の実現

- ・ 現況課題の解決に向けた整備を図ります。
- ・ 利用者ニーズがある公園活用手法は、実証実験を行い実現に向けた取り組みを図ります。
- ・ 公園や周辺一帯の施設管理者等との連携を強化し、エリア単位で賑わい創出に向けた運営に努めます。



●現況課題

- ・ こどもの遊び場がない。
- ・ オープンスペースに暑熱対策を講じた施設がない。
- ・ 公園を含むこのエリアには、複数の管理者が存在しており、ルールや活用方針、維持管理方針がバラバラである。
- ・ 海辺という立地環境による施設の劣化や高潮対策、漂着ゴミ対応などを適切に行う必要がある。

【的ヶ浜公園経営方針】

●公園の概要

開設年	昭和49年
公園種別	近隣公園
面積 (ha)	2.37
住所	北的ヶ浜町1183-4外

- ・ 一帯の海岸整備事業により設置された公園で、海側はスパビーチ(人工海岸)が隣接している。
- ・ 主な公園施設は、噴水、東屋、花壇、ベンチ、便所などがある。
- ・ 公園区域内には、小規模な市営駐車場や用途廃止した構造上健全でなく利活用できない老朽建築物がある。

●公園の利活用実態

- ・ 別府を代表するイベントが開催される公園で、「べっぷ火の海まつり」や「べっぷクリスマスファンタジア」、「別府温泉シャワーフェス/BOSF」などがある際は、付近一帯も含めて大変な賑わいとなっている。
- ・ 日常利用は、各学校の遠足や旅館ホテル宿泊者の散歩等が見受けられる程度である。
- ・ 令和5年度に実施した来園者向けアンケート調査では、約78%の人が日常利用せずイベント時のみ来園すると回答しており、公園の魅力度の低さや目的性のなさが伺える。また、便益施設やこどもの遊び場など新たな機能の充実へのニーズが高かった。



●経営テーマ

みんなが使って活きる公園づくり

①快適な滞在空間の創出

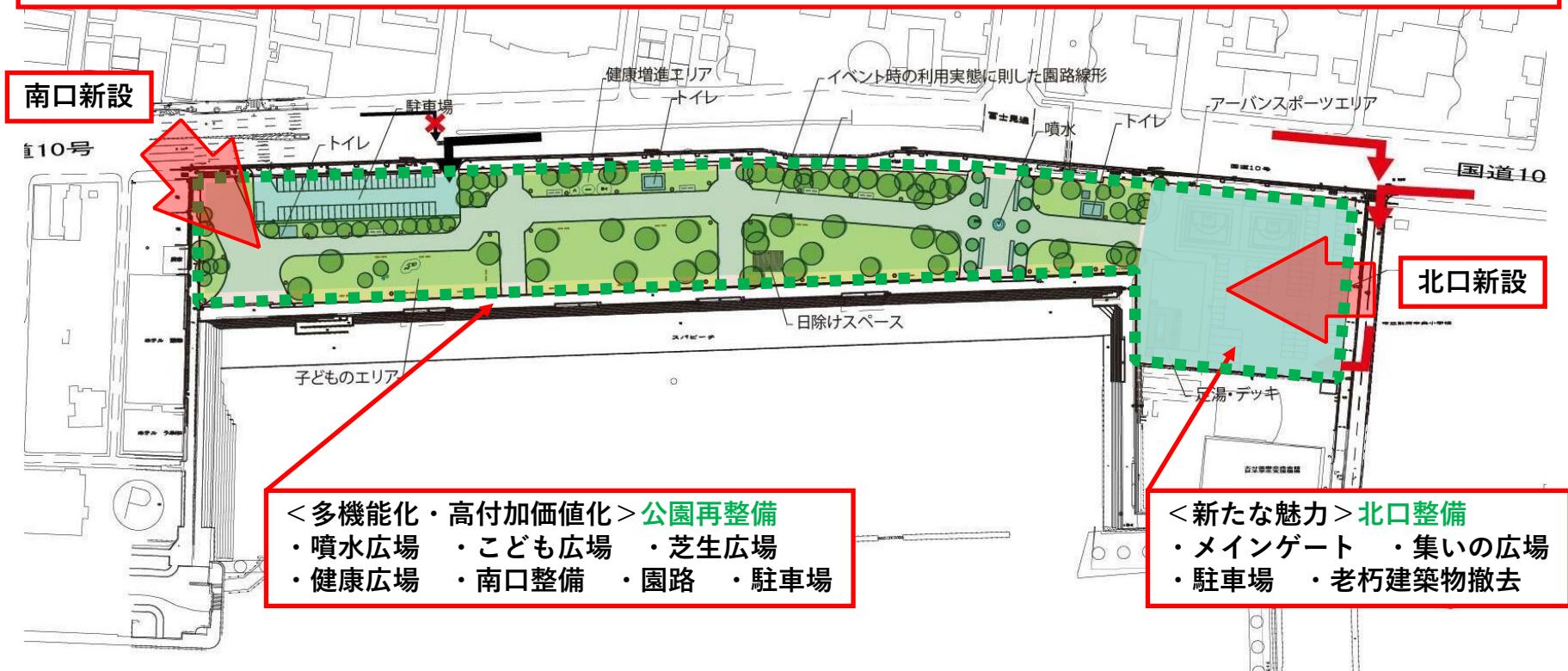
- ・ 未利用地にある老朽建築物を撤去し、ニーズが高く賑わい増進に資する施設を導入し新たな魅力を創出します。
- ・ 公園区域内に点在する諸施設を機能と効果がより発揮されるよう再配置し、エリアとしての高付加価値化を図ります。
- ・ 公園の多機能化ときめ細やかな維持管理による居心地の良い空間づくり。

②機動的なまちづくりの核となる場を目指す

- ・ 多様化する利用ニーズに柔軟にえられる公園への進化。
- ・ 利用ルールの弾力化や新たな可能性を探る実験的な利活用の推進。
- ・ 人と人のリアルな交流やイノベーションを生み出す空間づくり。

③共に育て共に創る公園

- ・ パークマネジメント組織の設置や市民を含む多様な主体による管理運営体制の構築を図ります。
- ・ パートナーシップの公園マネジメントの実践により「みんなのお庭」である公園への関心を高めます。
- ・ 健康・子育て・コミュニティ形成等の社会的効果や地域経済への貢献など、公園ポテンシャルの最大限の発揮に向けて地域連携、公民連携の促進を図ります。



●現況課題

- ・ 鬱蒼とした植栽により、国道から公園内、さらにはその先に海があることが見えない・伝わらない。
- ・ 明確な園路等はなく段差等が全域にある状況にあり、また諸施設もバリアフリー化されていない。
- ・ 日常は利用者があまりおらず閑散としており、年間数回あるイベント会場公園となっている。
- ・ 用途廃止した老朽建築物が公園へのアプローチを促す北エリアに残存しているため、来園の妨げになっている。
- ・ 市内で唯一の噴水や海を臨むロケーションなどの魅力が発信できていない。
- ・ スパビーチと一体での利活用によるエリアの魅力向上ができていない。